

総括質疑

令和4年度高鍋町一般会計補正予算（第3号）についての質疑から抜粋

文化で紡ぐ地域活力の再興応援事業補助金300万円とあるが、補助金の目的は何か。

長引くコロナ禍により各地域に根づいた伝統行事等も相次いで中止となるなど、地域活力が低下し、地域文化の承継も危機的な状況にあるということを背景として、それらの活動再開に向けた取組を支援し、地域文化の魅力発信や将来への承継、関係人口の増加、観光需要の回復につなげることなどを目的としている。

ヤンバルトサカヤスデの共同研究委託とするが、どことどんな研究を考えているのか。国立大学法人宮崎大学と宮崎県木材利用技術センターとの三者による共同研究で、ヤンバルトサカヤスデの忌避剤の研究を行う。

スマートウエルネスシティとはどういう内容か。個々人が健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことが出来ること。

健幸アンバサダーはどのような役割か。健康に関して正しい情報をくちコミで広げる役割を担つていただく方と考えている。

総務厚生常任委員会審査

令和4年度高鍋町一般会計補正予算（第3号）中関係部分について

◆地域政策課（総合施策係）

問 高鍋駅舎改修工事実施設計について、駅室は賃料をとるか。

答 駅舎土地はJRが高鍋町に無償で貸し出しているが、JRが駅機能を存続させるために駅務室が必要で賃料の無い契約。

◆町民生活課

問 ヤンバルトサカヤスデ駆除について、宮崎大学、県木材利用技術センターと高鍋町の三者で寄せ付けない忌避剤の研究を行うが、研究のノウハウはあるか。

答 過去両機関でゴキブリなどの害虫に関する共同研究を行った実績があり、何らかのノウハウがあると考えている。

◆福祉課

問 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金について、令和3年度に家計急変による給付を受けた世帯数は。

答 非課税世帯は2399世帯で、家計急変による給付は20世帯。

◆健康保険課

問 H.P.V感染症ワクチン（子宮頸がん予防）接種について、接種勧奨が行われなくなつた理由は。

答 メールは横ばい、ラインは増加傾向にある。

◆財政経営課

問 防災情報配信システムの各種メディアの利用数は増えているか。

答 ように行うか。

◆総務課

問 使われなくなつた教職員住宅の処分はどのように行うか。

答 順次売り出していく。

総括質疑

令和4年度高鍋町一般会計補正予算（第3号）

◆中関係部分について

問 駅室は賃料をとるか。

答 駅舎土地はJRが高鍋町に無償で貸し出しているが、JRが駅機能を存続させるために駅務室が必要で賃料の無い契約。

◆地域政策課（総合施策係）

問 ヤンバルトサカヤスデ駆除について、宮崎大学、県木材利用技術センターと高鍋町の三者で寄せ付けない忌避剤の研究を行うが、研究のノウハウはあるか。

答 過去両機関でゴキブリなどの害虫に関する共同研究を行った実績があり、何らかのノウハウがあると考えている。

◆町民生活課

問 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金について、令和3年度に家計急変による給付を受けた世帯数は。

答 非課税世帯は2399世帯で、家計急変による給付は20世帯。

◆健康保険課

問 H.P.V感染症ワクチン（子宮頸がん予防）接種について、接種勧奨が行われなくなつた理由は。

答 メールは横ばい、ラインは増加傾向にある。

◆財政経営課

問 使われなくなつた教職員住宅の処分はどのように行うか。

答 順次売り出していく。

◆特別委員会審査◆

令和3年度高鍋町工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算について

（今回の認定は、工業用地造成事業に関する特別会計で、すでにキヤノン株式会社への工業用地売却を完了、令和3年度は地方債の償還に係る経費の支出のみとの説明あり。）

問 県貸付分地方債償還金元金1億6100万円の償還は、県の指導によるものか。それとも、高鍋町が自主で償還したもののか。

答 高鍋町として事業が終了しているので、繰り上げ償還を県に相談し、償還を行つた。

令和4年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

（今回の補正は、歳入歳出予算総額には変更はなく、補正の主な内容は、歳入では、国民健康保険税、国民健康保険基金繰入金、繰越金間での財源調整。歳出では、科目の変更を行うもの。）

問 国民健康保険基金残高はいくらか。

答 約5億8000万円である。

◆文教産業建設常任委員会審査◆

令和4年度高鍋町一般会計補正予算（第3号）中関係部分について

◆社会教育課

問 I.Tセンターの、次年度以降の維持管理費の見込みは。

答 今年度の運営委託料は190万円。今後は今年度の試験運用を経て見極める。

◆建設管理課

問 西中学校浄化槽工事の設計業務委託を、「ひかり設計」に委託したことで工事開始が遅れているが、今後はどうするのか。

答 今後は信用・実績のある別の業者に設計を継承させた上で業務委託を行う。

◆農業政策課

問 5億円以上の畜産競争力強化整備事業補助金の減額があるが、経緯の説明を。

答 この事業に関しては、令和3年11月からの計画で、当初は小並地区での計画だったが、住民の反対により1月に正祐寺地区に計画を変更。その後正祐寺地区でも住民と話をまとまりらず、事業者が事業の取り下げを行つたことによるもの。



「温泉源泉施設の現地調査」